

「危篤連絡」

(1) 深夜・早朝の時は、詫びの言葉を先に一言。

「夜分遅く申し訳ございません」「こんな時間に失礼いたします」

[]

(2) [誰が] [原因]

「私は、〇〇〇〇の長男ですが、父〇〇が、危篤の宣告を受けましたので、ご連絡させていただきました。まだ息のあるうちに一目会っていただけないでしょうか。」

[]

(3) [どこで]

(病院名・部屋番号・住所・病院の電話番号など) を伝えます。

「〇〇病院の5階28号室になります。病院の住所は、東京都豊島区池袋1-1-1になります。一応病院の電話番号をお伝えしておきます。03-1234-〇〇〇〇です。」

[]

(4) 最後に、お願いの言葉を。

「よろしく願いいたします。」

[]